

犬の散歩の必需品

「マナー、シャベル、ゴミ袋」

犬の散歩で、一番の問題となるのが、フンの後始末です。道端に放置された犬のフンは、人々を不快な気分させます。また、フンに土をかぶせて、フンを土に還す」というのもよくありません。

犬のフンは、簡単に分解されるものではなく、伝染病を引き起こす原因にもなります。散歩中に犬がフンをしたら必ずシャベルですくい、ゴミ袋に入れて持ち帰りましょう。また、シャベルや袋を持つのは格好だけという人も見かけますが、責任を持って片付けましょう。それが犬を飼う上での最低限のマナーです。

犬の散歩のときは、必ず「マナー」、「シャベル」、「ゴミ袋」の3点セットを持って出掛けましょう。

なお、深谷狂犬病予防協会では、犬のフンの持ち帰りをPRするため、シール（下参照）を作成しました。ご希望のかたには無償で差し上げます。



問い合わせ
くらしいきいき課
(574 6633)へ



市内の多くの場所で、ゴミのポイ捨てやタバコの投げ捨てによるゴミが見受けられます。タバコの吸い殻や空き缶のポイ捨てなど、一部の市民の迷惑行為が問題となっています。

ポイ捨てはまちを汚す原因の一つであるとともに、田んぼや畑に投げ捨てられた空き缶や空き瓶などは、農作業の際にけがをする原因にもなります。

市では合併と同時に（旧深谷市では平成15年10月）に「くらしの環境美化条例」を制定し、これらの迷惑行為を禁止しています。

美しい景観、快適な生活環境をつくるため、自分のゴミは責任をもって、適切な処理をお願いします。



STOP ポイ捨て

広報ふかやアンケート

現在、市ホームページ・市モバイルサイトにおいて『広報ふかやについて』のアンケートを行っています。ご協力をお願いいたします。

市ホームページ <http://www.city.fukaya.saitama.jp/>
市モバイルサイト <http://mobile.city.fukaya.saitama.jp/>

自治会連合会から

新潟県中越沖地震に義援金

深谷市自治会連合会は自治会員の皆さんから新潟県中越沖地震の義援金として集めた総額4,100,722円を日本赤十字社に寄付しました。義援金は、9月10日、國吉会長から日本赤十字社埼玉県支部深谷市地区長を務める新井市長に手渡されました。



My Town Topics



栗原恒治さん、小林泉さん 市内男女最高齢おめでとうございます



新井市長と懇談する栗原さん

男性で市内最高齢の西大沼にお住まいの栗原恒治さん(102歳)同じく女性最高齢の東方にお住まいの小林泉さん(103歳)のお二人へ、市から記念品をお贈りいたしました。栗原さんは80年間日記を書き続けていて、それが健康の秘訣とお話いただきました。お二人とも、いつまでもお元気で!



毎日つけている日記帳

熊野大神社で救急救命訓練

8月19日、市内東方の熊野大神社で、深谷市消防本部の救急隊員の指導の下、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)を用いた救命処置の講習会が行われました。参加した皆さんは、真剣な眼差しで熱心に話を聞き入っていました。



猛暑でも、深小っ子は元気いっぱい!!



8月19日、深谷小学校でPTA主催の『深小っ子フェスティバル』が開かれました。会場では、カキ氷やカレーが振る舞われ、総勢500人を超える親子が手作りのゲーム大会を通してふれあい、親子のきずなを深めました。

フリーモントへ中学生10人が派遣されました

7月24日から31日まで、市内10校の代表生徒10人がフリーモント市とその近郊でのホームステイを通して、さまざまな体験をしました。

サヨナラパーティーでは女子生徒は浴衣を着て参加し、用意した剣道、お手玉、歌などの出し物を披露し、和やかなムードの下、親睦を深めながら、別れを惜しまました。

